



きよかわむら

社協だより

2015

3

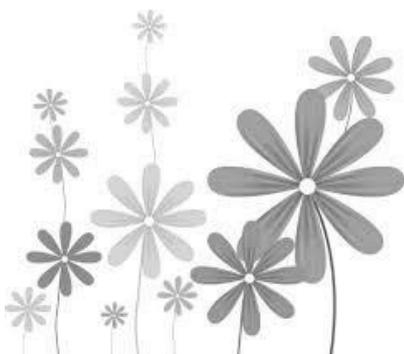
No.163



ダンスと

笑顔の輪

2月3日、村内でフオークダンスを行っている「水曜会」のみなさんがデイサービスに来てくださいました。ダンスの披露の他、利用者が座ったままでも楽しめるよう、会のみなさんが順番に手を取ってくださいました。楽しい雰囲気誘われ、立ち上がり踊りの輪に加わる利用者もいました。会場の全員が自然と笑顔になるとても和やかな一日でした。



3月号 おもな内容

- | | | | | |
|-----------|---------|----|------------|----|
| ●ボランティアの扉 | 書き損じはがき | 2P | ●デイサービスの話題 | 3P |
| ●身体障害者サロン | | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。

ボランティアの扉 使用済み切手

住民の皆様からお寄せいただいた使用済み切手を2月17日に住民の方2名とともに、座間市にある「もくせい園」にお届けしました。もくせい園は、知的障害者が通所し、作業や行事を通じて生活技術や社会生活力を培う施設です。切手をお届けした様子と活用方法をご報告します。

集まった使用済み切手

3年5ヶ月でダンボール箱3つ分の使用済み切手が集まりました。



使用済み切手をお届けしました

使用済み切手を使った作業を見学させていただきました

作業は、①切手をぬるま湯につけ、紙から剥がす、②濡れた切手を乾かす、③切手を種類ごとに分ける、④切手を25枚の束にする。この工程が基本となっていました。最後に職員が破れている切手はないかをチェックし、500枚ずつの束にします。1年に1回換金し、3~4万円になるそうです。お金は、利用者全員で均等に分けます。



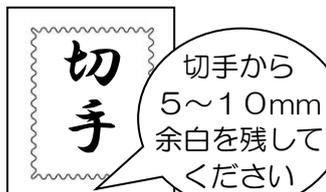
←紙からはがした切手を丁寧に向きを揃えて並べ乾かします。乾かす台にはマス目が書かれており、どこに切手を置けばいいかわかりやすいように工夫されています。



←切手の枚数を数える作業。こちらにも台紙に目盛りがあり、マスごとに切手を置けば25枚の束ができるよう、数えなくても作業ができるよう工夫されていました。

切手の収集方法

切手を封筒から切り離して収集する方法が一般的ですが、もくせい園では、封筒から切り離さないままでもいいとのことでした。理由は、封筒から切手を切り出すことも利用者の仕事としているからです。そのため、**清川村社協では、切手を切り離していない封筒も募集します。**なお、個人情報が入っているという方は今までどおり、切り取っていただいていたの収集でも構いません。



参加いただいた2名の方より感想をいただきました。

- 実際に作業を見学させていただき、大変勉強になった。切手が換金されるだけと思っていたが、そこまでの工程が利用者の作業になっていることが分かった。
- 封筒から切手を切り離さなくてもいいのであれば、切る手間もなく集めやすい。
- 今日見たことを周りで収集している方にも伝えたい。

清川村社協では、引き続き使用済み切手の収集を行います。皆様のご協力よろしくお願ひ致します。

熱気一杯 笑顔一杯

身体障害者サロン活動でカラオケ



今月はカラオケを楽しみましょうと、1月の身体障害者サロン活動は村ふれあいセンターで、参加者2人にアドバイザーの栗谷氏を交えて実施しました。参加者は早速自慢の1曲を選び熱唱されました。この日に歌った曲はお2人併せてなんと11曲。少人数ではありますが会場は熱気一杯でした。お2人が歌い終えた後は「青い山脈」を皆で歌いました。参加者は「とても楽しかった」「また来たい」と、満足そうに話されました。身体障害者サロン活動開始以来、初めての外出をそれぞれが満喫されていました。

デイサービスの話題

鬼は外、福は内



節分の2月3日、デイサービスでは豆まきをしました。職員扮する鬼めがけ「鬼は外！ 福は内！」と力いっぱい豆を投げる利用者。鬼たちも早々と退散しました。無事に今年も福をデイサービスに呼び込むことができました。

あおぞら保育園を訪問

2月18日に、利用者があおぞら保育園の園児と交流をしました。保育園とは、園児が散歩の途中にデイサービスによって下さったり、お遊戯を披露しに来てくださっていました。今回は、利用者が保育園を訪問しました。利用者が、練習してきたハンドベルの曲を披露すると、園児たちは、お返しにと「ピーターパン」の劇を披露してくださいました。利用者からは、「可愛くて、上手にできました。ありがとうございます」「涙が出ちゃいました」と感想がありました。これからも交流を深めていきたいと思えます。



神奈川第60期 相模原・県央講座 災害救援ボランティア講座

防災ボランティアを養成し、災害時に人的被害を減らすことを目的に開催します。「わが命、わが家族、わが街」を守るため、多くの皆さんの参加を期待します。

日時 3月18日(水) 9:40~16:30
3月19日(木) 9:10~17:00
3月20日(金) 9:00~17:00

場所 神奈川県総合防災センター防災管理棟3階
(住所:厚木市下津古久280)

内容 各種講座、実技訓練、応急手当活動等

定員 50名 (応募締切3月6日(金))

※定員に達し次第、締切

費用 一人 13,900円(学生は9,900円)

受講までの流れ

- ①受講申込書を送付します。
- ②日程表や会場地図等の資料と受講料振込用紙が届きます。
- ③受講料を入金ください。
- ④当日、会場へお越し下さい。

※受講申込書は社協窓口にお渡しします。

受講申し込み、お問い合わせ先

災害救援ボランティア推進委員会事務局

TEL 03-6822-9900

FAX 03-3556-8217

業務時間 9:30~17:10(土日祝日を除く)

回収にご協力ありがとうございます

平成27年1月~平成27年2月

- | | |
|---------------|-----|
| ○ペットボトルキャップ | 10件 |
| ○古切手 | 3件 |
| ○使用済みプリペイドカード | 2件 |

平成27年度ボランティア保険の 受付を開始します

平成26年度にご加入されましたボランティア保険は、平成27年3月31日で有効期間が終了します。4月以降も安心してボランティア活動が行えるようボランティア保険の加入をお勧めいたします。

【補償内容・保険料(年額)】

		補償金額・保険料	
		Aプラン	Bプラン
死亡・後遺障害		1,200万円	1,800万円
後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
入院保険金日額		6,500円	10,000円
手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額		4,000円	6,000円
特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各保証金額(保険金額)に同じ	
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
保険料 (年額)	基本タイプ	300円	450円
	天災タイプ	430円	650円

※保険加入申込用紙は社協窓口にあります。

※天災タイプでは、天災(地震、噴火、または津波に起因する被保険者自身のケガを保証しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

お問い合わせ、申込み先

清川村社協 ☎046-287-1118

はあじ うおーむ

2ページで、使用済み切手を施設にお届けした記事を上げました。どのように活用されているのかと疑問に思いながら収集している方も多いかと思いますが、今回施設に同行いただいた住民の方もその思いから参加くださいました。百聞は一見にしかずとはよく言ったもので、参加された方々からは最後に参加してよかったとの感想をいただきました。

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013